

令和5年7月6日 関

～ 墨田区×東京カメラ部連動企画！インスタで「すみだの魅力」を発信！～

「写真でつながる墨田区フォトコンテスト2023」作品募集を開始！



区は、東京カメラ部株式会社（所在地：渋谷区神宮前6-28-5 宮崎ビルB棟4F、代表：塚崎秀雄）とのタイアップ事業として、本日より「すみだの魅力」をテーマに、それぞれが知るすみだを写真で伝える「写真でつながる墨田区 フォトコンテスト2023」の作品募集を開始した。作品の応募期間は、12月5日(火)まで。

本事業は、シティプロモーションの一環として、今年で5回目となる。写真を通して区への愛着を深めてもらい、区の魅力の再発見につなげることがねらい。コンテスト受賞者は墨田区の公式フォトグラファー「すみだカメラ部10選」として認定され、今後、区内の風景や人、イベントなどの写真を区公式インスタグラム等から発信することができる。

応募は、区公式インスタグラム（アカウント名：sumida_official）と「東京カメラ部」キャンペーン用インスタグラム（アカウント名：tokyocameraclub_cp31）をフォローの上、部門ごとにハッシュタグをつけて写真を投稿する。

募集は4つの部門（「すみだの象徴」「すみだの四季」「伝統文化と職人のまち、すみだ」「すみだって、懐かしくて新しい」）に分けて行う。受賞者は各部門2名（計4名）と特別賞2名の合計10名で、受賞者には上述の「すみだカメラ部10選」としての活動のほか、協賛企業等から東京スカイツリーのチケット、すみだ水族館の年間パスポート、カメラの撮影グッズなどといった賞品が贈られる。受賞作品は、2024年2月末に行われる表彰式で発表する予定。また、昨年度からはじまった任意ハッシュタグ「#わたしのすみだ自慢」を使って、区のシティプロモーション戦略で大切にしている「伝え合いの輪」を広げる取組としても活用する。

区担当者は「今回の募集では、江戸から引き継がれる伝統的なお祭りや文化、職人の技術等を捉えた作品を『伝統文化と職人のまち、すみだ』部門、下町風情や新たなまちづくりが新旧入り混じる個性的な魅力を『すみだって、新しくて懐かしい』部門として新たに設置しました。様々なイベントなどが再開してきまし、楽しみながら区内散策をして撮影してもらい、すみだの魅力を再発見できるようなコンテストにできれば嬉しいです。過去に撮影した写真でも応募できるので、みなさんのお気に入りの素敵な写真など、たくさんの応募をお待ちしています。」と話す。

《募集要項》

【HP】写真でつながる墨田区 フォトコンテスト特設サイト
<https://sumida.tokyocameraclub.com/contest2023>

【部門】・「すみだの象徴」部門（#すみだの象徴）
・「すみだの四季」部門（#未来に残したいすみだ）
・「伝統文化と職人のまち、すみだ」部門（#すみだの伝統）
・「すみだって、懐かしくて新しい」部門（#すみだがエモい）

【募集期間】2023年7月6日（木）～2023年12月5日（火）
過去に撮影した写真でも応募可能

【賞品】・墨田区の公式フォトグラファー『すみだカメラ部10選』
・協賛企業からご提供いただいた賞品

【受賞者数】10名

【審査会】2023年12月～2024年1月頃（予定）
・審査員：協賛企業、墨田区長・副区長ほか

【表彰式】日時：2024年2月末頃（予定）
内容：表彰状の授与、賞品の贈呈など
参加者：受賞者、協賛企業、墨田区長ほか

【協賛企業・団体】

アサヒグループホールディングス株式会社、有限会社エワタリ、株式会社ジェイコム 東京すみだ台東局、すみだ水族館、すみだ北斎美術館、東武タワースカイツリー株式会社、東武鉄道株式会社、ハクバ写真産業株式会社、フウガドールすみだ、三菱王子紙販売株式会社、墨田浴場組合（全11企業・団体、五十音順）

<すみだカメラ部10選>

墨田区の公式フォトグラファーとして撮影した、区内の風景や人、イベントなどの写真を、区公式Instagramや区公式ホームページなどにおいて発信する。区公式Instagramに掲載する際には、撮影者のInstagramのアカウント名や写真タイトル、一言コメントなども添える。活動期間は1年間の予定。

《問合せ》 広報広聴担当 03-5608-6220 お問い合わせは午後5時までをお願いします。